

Kanelite Tatami

カネライト畳[®] フォーム



kaneka

省エネに貢献する断熱性能 伝統に新機能が加わって さらに心地よいやすらぎを…。

“畳”、そのやわらかい肌触りと温かい質感は、
古来から多くの人々に愛され、
建築様式が進化していく中でも
日本古来伝統の床材として広く愛用されています。
より快適な住まいを創るために、
断熱性・保温性・防湿性に優れた
カネライトフォームまたはカネライト畳フォームを芯材に使用した、
環境にやさしい各種カネライト畳をご提案します。

カネライトフォームは建材トップランナー制度対象製品(区分名:押出法ポリスチレンフォーム断熱材)です

建材トップランナー制度とは

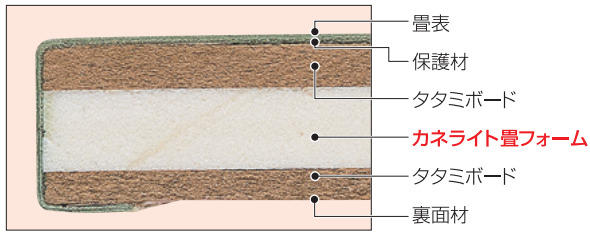
経済産業省 資源エネルギー庁が、製品の性能をさらに向上させるように目標値を設定し、その達成を求める制度です。

断熱材では、押出法ポリスチレンフォーム断熱材、グラスウール断熱材、ロックウール断熱材、硬質ウレタンフォーム断熱材の4種類が対象となっています。押出法ポリスチレンフォーム断熱材の2030年度目標基準値は、熱伝導率 $0.03036 [W/(m\cdot K)]$ と定められています。

カネライト畳®

タタミボードタイプ (KB-Ⅲ形)

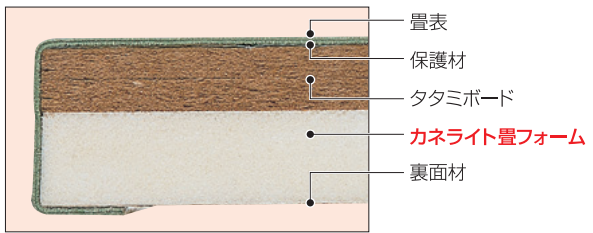
JIS A 5914 KT-Ⅲ 断熱建材畳床



畳仕上げ厚さ	45・50・55・60
カネライト畳フォーム厚さ	20・25・30・35 (mm)

タタミボードタイプ (KB-Ⅱ形)

JIS A 5914 KT-Ⅱ 断熱建材畳床



畳仕上げ厚さ	35・40・45・50・55・60
カネライト畳フォーム厚さ	20・25・30・35*・40・45 (mm)

*は販売地域限定商品です。

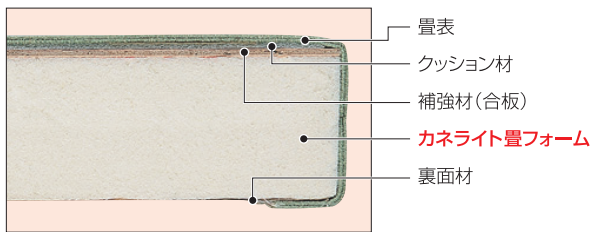
稲わらサンドタイプとオールフォームタイプの長所を組み合わせた断熱建材畳床です

天然稲わらの代わりに、工業製品である「木質繊維板(タタミボード)」を使用した普及タイプ畳床。

稲わらサンドタイプの持っている機能を保持しつつ、タタミボードとカネライト畳フォームを組み合わせて2層タイプ、3層タイプと選択が可能。戸建・集合住宅、旅館・飲食店等の様々な条件にお応えできる建材畳床。

オールフォームタイプ (AF-V)

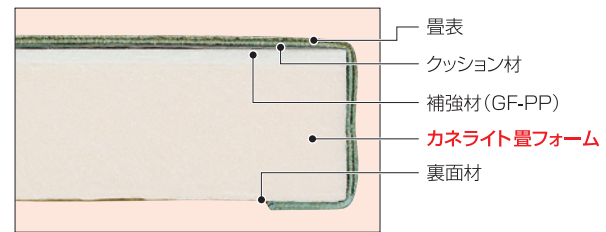
JIS A 5914 KT-K,N 断熱建材畳床



畳仕上げ厚さ	35・40・45・50・55・60
カネライト畳フォーム厚さ	25・30・35・40・45・50 (mm)

オールフォームタイプ (AF-GF)

JIS A 5914 KT-K,N 断熱建材畳床



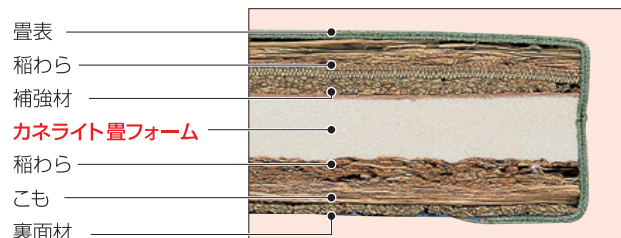
畳仕上げ厚さ	35・40・45・50・55・60
カネライト畳フォーム厚さ	25・30・35・40・45・50 (mm)

“畳の形をした断熱材”といえるほど、

カネライト畳フォームの使用量を最大にし、断熱性能を高めた断熱建材畳床です

稲わらサンドタイプ (WS)

JIS A 5901 PS ポリスチレンフォームサンドイッチ稲わら畳床



畳仕上げ厚さ	55・60
カネライト畳フォーム厚さ	20・25・30 (mm)

稲わらを使用し、伝統的な風合いを残した懐かしい感触の畳床です

昔からの「わら畳」が保持している踏み心地、座り心地等の感触に拘るユーザー向け。天然稲わら層が持つ「調湿機能」「緩衝性能」に、カネライト畳フォームの「断熱性能」を併せ持つ畳床。

- ・畳表及び畳縁の種類や有り無しの仕様、価格などは畳店とご相談ください。
- ・弊社はカネライト畳の芯材であるカネライトフォーム・カネライト畳フォームを製造・販売しております。
- ・カネライト畳は、カネライトフォーム・カネライト畳フォームを芯材として使用したJIS A 5901あるいはJIS A 5914の規格を満足する畳床から製造される畳の総称です。

カネライト畳の標準仕上げサイズ (mm)

呼称	長さ	幅	厚さ
本間(京間)	1,910	955	55・60
六一間(中・四国間)	1,850	925	
三六間(中京間)	1,820	910	
五八間(江戸間)	1,760	880	
五六間(団地間)	1,700	850	

カネライト豊フォーム

■ 特長

■優れた断熱性能です

独立した小さな気泡の中に気体を閉じ込めることにより、熱伝導の三要素として知られる「伝導・輻射・対流」を抑えています。気体を閉じ込めた独立した気泡が熱をさえぎり、結露を抑制します。

■吸水・吸湿性がほとんどありません

独立した気泡が断熱の大敵である水を入りにくくし、断熱性能の劣化を防いでいます。

■人と地球にやさしく

フロン及びPRT法対象物質の発泡剤としての使用を取りやめました。また、ホルムアルデヒドも含まれておりません。マテリアルリサイクルも可能で、グリーン購入法にも適合しています。

カネライト豊フォーム(KTA)は、
豊床用に性能改良した
豊用途専用フォームです。



■標準物性表

JIS A 9511 記号		XPS2bA	試験法
JIS A 9521 記号			
項目	単位	KTA	
密度	kg/m ³	27以上 ^(※1)	JIS A 9521
熱伝導率	W/(m·K)	0.034以下	JIS A 9521
圧縮強さ	N/cm ²	20以上	JIS A 9521
曲げ強さ	N/cm ²	20以上	JIS A 9521
吸水量	g/100cm ²	0.01以下	JIS A 9521
透湿係数	ng/(m ² ·s·Pa)	145以下	JIS A 9521(厚さ: 25mm)
燃焼性	—	合格	JIS A 9521
ホルムアルデヒド放散区分	等級	F☆☆☆☆	JIS A 9521
線膨張率	cm/cm℃	6~8×10 ⁻⁵	ASTM D696
加熱変形温度	℃	80(短期)/70(長期)	カネカ法

・燃焼性の規格は「3秒以内に炎が消えて、残じんがなく、かつ燃焼限界指示線を超えて燃焼しない」ことです。
・線膨張率はASTM法、加熱変形温度はカネカ法による測定の実験値であり、保証値ではありません。
・弊社はカネライト豊の芯材であるカネライト豊フォームを製造・販売しております。
・高性能(熱伝導率0.028W/(m·K))品についてはお問い合わせください。
※1: JIS A 5914断熱建材豊床の規格

■耐薬品性表

薬品名	状態
塩水	○
強酸(濃硝酸を除く)	○
弱酸	○
アルカリ	○
アルコール	○
植物油	○
動物油	○
鉱油	×
ガソリン	×
ケトン	×
芳香族類(ベンゼン、トルエン等)	×
塩素化炭化水素	×
エステル	×

○:安定 ×:溶解または膨潤
薬品に室温で24時間浸漬後、試験片の状態を観察し判定。

■カネライトフォームは下記の規格に適合した工場 管理・生産されています。

工場名	JIS	ISO 9001	ISO 14001	エコアクション21
(株)カネカ大阪工場	TC 05 08 016	JCQA-0673 (JIS Q 9001:2015)	JCQA-E-0053	—
(株)カネカ鹿島工場	TC 03 07 450		JCQA-E-0054	
北海道カネライト(株)	TC 01 07 029	—	—	0001905
九州カネライト(株)	TC 08 07 057			0001673

エコアクション21は環境省が策定したガイドラインに基づく環境マネジメントシステムです。

■改正建築基準法への対応について

押出法ポリスチレンフォーム断熱材である当社製品「カネライトフォーム」「カネライト豊フォーム」は、
①原料中にクロロビニルホスは一切使用しておりません。
②ホルムアルデヒド発散建築材料ではありません。
(ホルムアルデヒド発散建築材料を定める国土交通省告示第1113号~1115号に押出法ポリスチレンフォーム断熱材は該当しません。)

発効日: 2023年6月2日

Certification for Japanese Industrial Standards

JIS 日本産業規格適合性認証書

株式会社カネカ 大阪工場 殿

産業標準化法第30条第1項に基づき、下記のとおり当該日本産業規格への適合を認証いたします。

記

認証番号: TC0508016

認証取得者の氏名及び名称: 株式会社カネカ 大阪工場
住所: 大阪府摂津市島側西5-1-1

鑑工業品の名称: 発泡プラスチック保温材、建築用断熱材

認証に係るJIS番号: JIS A 9511, JIS A 9521

認証の区分: 押出法ポリスチレンフォーム保温材
押出法ポリスチレンフォーム断熱材

工場及び事業所の名称: 株式会社カネカ 大阪工場
所在地: 大阪府摂津市島側西5-1-1

「認証の範囲」、「認証マーク等の表示」、「付記事項の表示」及び「表示の方法」については日本産業規格適合性認証書附属書による。

認証契約日: 2008年6月2日
有効期限: 2026年6月1日

一般財団法人 建材試験センター
Japan Testing Center for Construction Materials
東京都中央区日本橋堀留町1丁目10番15号

理事長 渡辺 宏

Annex to Certification for Japanese Industrial Standards

JIS 日本産業規格適合性認証書附属書

(認証番号: TC0508016)

認証の範囲(種類又は等級):

区分	種類		
JIS A 9511 押出法ポリスチレン フォーム保温材	保温板	XPS1bC, XPS2bA, XPS3aA, XPS3bA, XPS3bC	
	ホルムアルデヒド 放散による区分	F☆☆☆☆	
JIS A 9521 押出法ポリスチレン フォーム断熱材	芯材又はスキャン による区分	N	X
	記号	XPS1bC, XPS2bA, XPS3aA, XPS3bA, XPS3bC	XPS3bA I, XPS3bA II
	ホルムアルデヒド 放散による区分	F☆☆☆☆	

認証マーク等の表示:

- 認証マークは、単色且直径10mm以上の大きさで表示する。
- 認証マーク近傍に、一般財団法人 建材試験センターの略称及び認証番号として、「TC0508016」を表示する。
- 日本産業規格の番号及び種類又は記号を表示する。

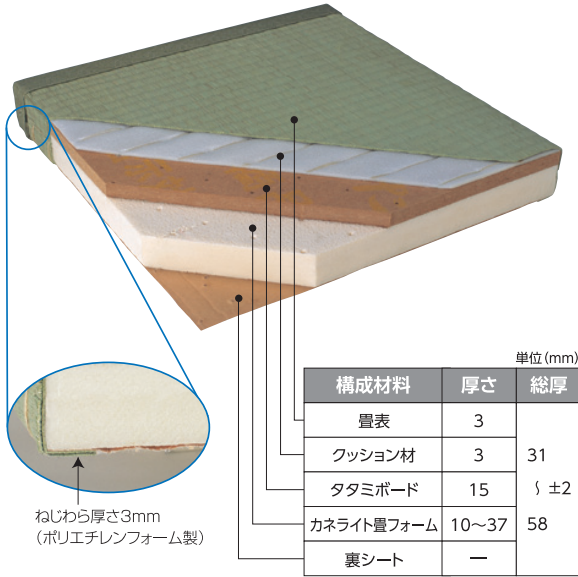
付記事項の表示: 鑑工業品等には次の事項を表示する。
適合するJISで定める表示事項
・認証取得者(製造業者)の名称又は略号
・製造工場又は略号
・製造年月又は略号
・その他、必要な事項
*「グリーン購入に適合している表示」、「燃焼性に関する表示」。

表示の方法:

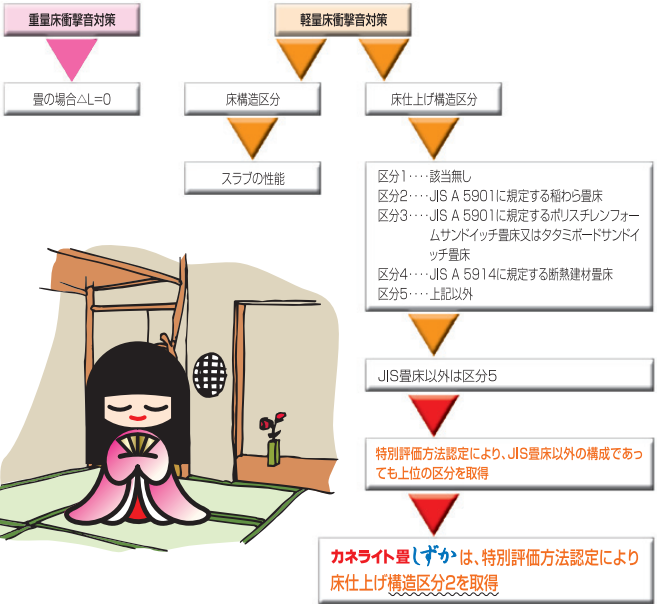
- 認証マーク等は、1製品ごと、又は1包装ごとに押印、又は吹き付け印刷する。
- 容易に消えない方法による。

一般財団法人 建材試験センター
上級経営管理者
丸山 慶一郎

■カネライト畳 しずか (床仕上げ構造区分2)仕様概略



■品確法における畳の音環境に関する性能表示制度概要



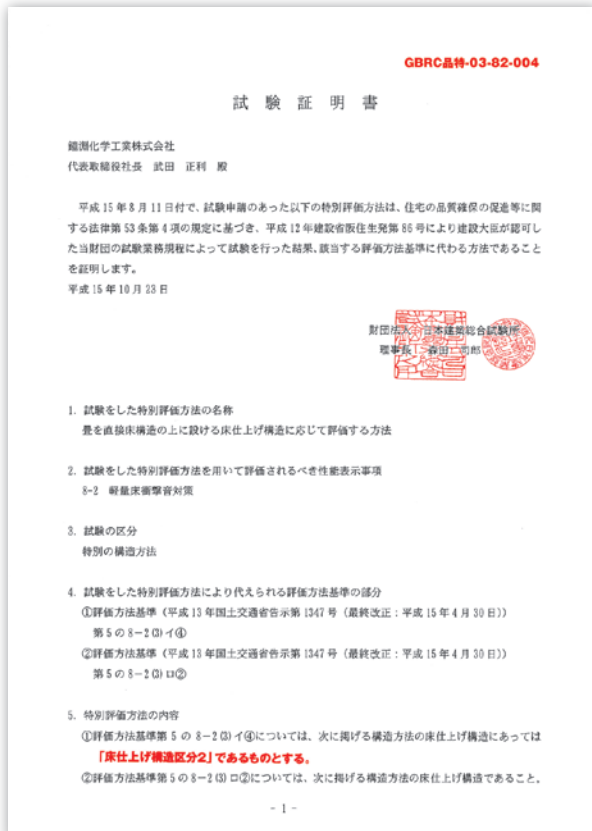
○軽畳床衝撃音対策等級

等級	LL	床構造区分 及び 床仕上げ構造区分			
		床構造区分 1	床構造区分 2	床構造区分 3	その他
等級 5	45 相当	床仕上げ構造区分1又は2	床仕上げ構造区分1	—	—
等級 4	50 相当	床仕上げ構造区分1.2.3	床仕上げ構造区分1又は2	床仕上げ構造区分1	—
等級 3	55 相当	床仕上げ構造区分1.2.3.4	床仕上げ構造区分1.2.3	床仕上げ構造区分1又は2	床仕上げ構造区分1
等級 2	60 相当	床仕上げ構造区分1.2.3.4.5	床仕上げ構造区分1.2.3.4	床仕上げ構造区分1.2.3	床仕上げ構造区分1又は2
等級 1	60 以下	それ以外			

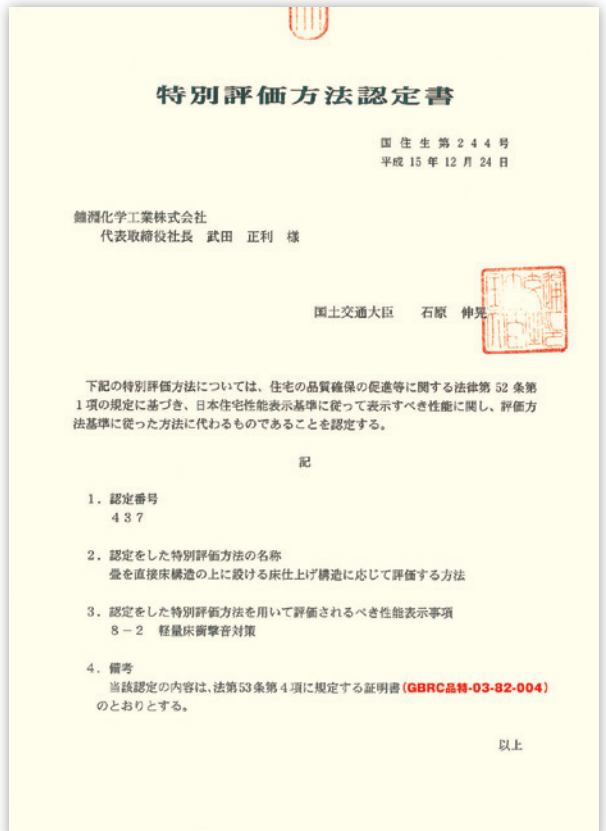
床構造区分 1…スラブ厚さ230mm以上
床構造区分 2…スラブ厚さ170mm以上
床構造区分 3…スラブ厚さ130mm以上

床仕上げ構造区分 1…従来のLL-40レベル
床仕上げ構造区分 2…従来のLL-45レベル
床仕上げ構造区分 3…従来のLL-50レベル
床仕上げ構造区分 4…従来のLL-55レベル
床仕上げ構造区分 5…従来のLL-60レベル

■試験証明書



■特別評価方法認定書



《カネライトフォーム®・カネライト畳®フォーム》 取扱上の注意事項

■火気注意

火気に接触すると燃えます。燃えると黒煙を発生します。また、発泡剤として可燃性ガスを使用しています。発泡剤は発泡成形後も製品内に一部残留し、徐々に逸散しますが、発泡剤は空気よりも重く、溝やピットなど掘り下げたところや閉鎖的な空間に滞留しやすい性質を持っています。発泡剤の濃度が爆発下限界を超えた状態で火源に接した場合、燃焼や爆発を起こす可能性が高くなります。従って輸送・保管・施工に際しては、火気と換気に十分注意してください。特に付近で溶接、溶断といった火気を使用する際は、火花等が当たらないよう確実に養生するとともに適切に換気してください。

■紫外線注意

直射日光に長時間(2~3日以上)さらすと徐々に表面から変色・劣化し、接着不良、厚さ減少等の原因になりますので、保管にあたっては養生シートで覆い施工後は仕上げを速やかに行ってください。

■有機溶剤注意

アルコール系以外の有機溶剤・石油類には侵されますので、使用接着剤・塗料の選択又、木造住宅の防霉・防蟻薬剤の選定及び、使用方法についても事前にそれらのメーカーにお問い合わせください。溶剤を使って作業する場合は十分換気し、火気を使用しないでください。

■割れ踏み抜き注意

局部荷重や衝撃には弱く割れやすい材料です。下地の無い箇所には乗らないでください。根太やたる木の上を歩いてください。

■高温注意

使用温度は70℃以下です。70℃を超えると徐々に変形し始めますので、高温での使用はさけてください。黒色系フォームは、吸熱しやすい性質がありますので、屋外での保管は遮光性のあるシート等で覆ってください。尚、透明のシートは内部が高温になりやすいので、使用しないでください。

■強風注意

軽量で取扱いが容易な反面、風にあおられやすいので強風下での作業は、行わないでください。また、保管にあたっては上に重りをのせるかロープ掛け等で、飛散防止措置をしてください。

■その他の注意

1. 切削等でフォーム屑が発生する取扱いを行う場合には集塵設備を設けるか、防護マスク等の保護具を着用してください。
2. フォーム屑が目に入った場合はこすらないで流水で洗浄してください。
3. 熱線スライス等煙の発生する作業をする場合は、換気を十分行ってください。
4. 廃棄の際には、条例に従って処理してください。燃やすと黒煙(スス)がでますのでご注意ください。
5. 鳥・ねずみ・昆虫等によって損傷を受けることがありますが、栄養源や、餌にはなりません。

注意事項に関しては、一般的取扱いを対象としたものです。
カネライト畳®フォームは主として断熱材として使われることを想定しています。それ以外の使用については、お問い合わせください。

・カネライト畳、カネライト畳しずか、しずか、カネライトフォームは株式会社カネカの登録商標です。

製造

株式会社 **カネカ**

Foam & Residential Techs Solutions Vehicle

東京本社 〒107-6028 東京都港区赤坂1-12-32 (アーク森ビル)

販売 (問い合わせ先)

カネカケンテック株式会社

カネライトフォーム営業本部

- 北海道 〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西3-1-20 TEL.011(222)5231
- 東 北 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 TEL.022(722)2901
- 東日本 〒112-0004 東京都文京区後楽1-1-7 TEL.03(6370)2370
- 中 部 〒461-0008 愛知県名古屋市東区武平町5-1 TEL.052(959)3251
- 西日本 〒541-0045 大阪府大阪市中央区道修町4-4-10 TEL.06(6205)3621
受注専用TEL.06(6226)5223
- 九 州 〒812-0006 福岡県福岡市博多区上牟田1-9-17 TEL.092(778)1001

